



常陸太田市市制施行70周年・合併20周年記念事業

第三十八回都々逸全国大会 作詞の部

作品集

第三十八回都々逸全国大会実行委員会

ごあいさつ

第三十八回都々逸全国大会作詞の部にご応募をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただいた作品により都々逸文化普及の一助といたしたく、作品集を刊行いたしましたので、よろしくご鑑賞いただきますようお願い申し上げます。

さて、作詞の部の選者を長年お務めいただきました吉住義之助先生がこの度ご勇退され、後継に小野桂之介先生をご推薦いただき、ご依頼申し上げますことになりました。小野先生は平成二十四年に吉住先生が主宰する都々逸ペンクラブしぐれ吟社に入会し、都々逸創作を始められました。現代都々逸の楽しさを一人でも多くの方に知っていただきたいという思いで様々な活動をされており、都々逸文化のために多大な貢献をされておりますので、ますますのご活躍を期待しております。

吉住先生には、これまでに賜りましたご指導ご助言に感謝を申し上げますとともに、これからも本事業に対しご支援くださいますようお願い申し上げます。

また、今大会では新たに「フレイル予防の部」を設けました。健康寿命を延ばすための秘訣など多くの作品が寄せられ、大いに盛り上がることでできました。

結びに、本大会の開催にあたり、ご支援・ご協力をいただきました関係者各位に心から厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

第三十八回都々逸全国大会

大会長 宮田 達夫

目次

	一般の部	宿題句	自由句	少年の部	フレイル予防の部	総評
1	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
26	3	10	17	22	26	

一般の部

◆宿題句「時」「輝」「未」「来」

賞区分	氏名・筆名	住 所
どどいつ大賞	松 村 有 子	埼玉県加須市
どどいつ準大賞	村 上 妙	東京都中央区
	後 藤 園 生	神奈川県川崎市
	猿 田 多真姫	茨城県常陸大宮市
どどいつ賞	山 口 龍 一	三重県伊勢市
	鵬 郷	茨城県常陸太田市
	平 間 貴 行	茨城県桜川市
	長谷川 源 一	茨城県行方市
	霞 天	茨城県稲敷郡美浦村
	森 田 純	千葉県柏市
佳 作	福 地 吉 夫	茨城県常陸太田市
	佐 藤 雅 雄	茨城県日立市
	宇 野 隆 子	茨城県常陸太田市

◆自由句

賞区分	氏名・筆名	住 所
どどいつ大賞	栗 原 松 枝	茨城県水戸市
どどいつ準大賞	小川野 蛙	茨城県石岡市
	猿 田 多真姫	茨城県常陸大宮市
	久 米 初 枝	東京都台東区
どどいつ賞	若 色 茂	茨城県石岡市
	稲 葉 建 正	茨城県桜川市
	吉 福 康 郎	愛知県春日井市
	澤 渡 延 代	静岡県浜松市
	王 田 佗 介	茨城県笠間市
	舟 橋 園 江	茨城県常陸太田市
佳 作	長谷川 源 一	茨城県行方市
	根 岸 一 弥	埼玉県さいたま市
	富 山 邦 男	茨城県那珂市

宿題句

お題

「時」

「輝」

「未」

「来」

どどいつ大賞

歳を重ねて 未だ未だ欲が 湧いて来るのは 宝物

評 そうです。何歳になっても、欲を失わないことが元氣と若さの秘訣です。

埼玉県加須市 松村 有子

どどいつ準大賞

賑やか家族の 子宝共にや 輝く未来が 待っている

評 少子高齢化時代の貴重な存在。子宝に恵まれた賑やかな家族の未来、輝いてほしいですね。

東京都中央区 村上 妙

輝く未来を 信じた頃の 夢はさておき 秋刀魚焼く

評 心の底にまだ消えていない若い頃からの夢。目の前の旨そうな秋刀魚。両方大切ですね。

神奈川県川崎市 後藤 園生

野辺の秋桜 花びらちぎり 恋を占う 来る来ない

評 季節感も溢れたロマンチックな作品。コスモスは恋占いに一番ぴったりの花。

茨城県常陸大宮市 猿田 多真姫

時の流れに 戸惑いながら 残る余生に 感謝する

評 たしかに世の中の変化に戸惑うことばかり。それでも健康で毎日を送れることに感謝、ですね。

三重県伊勢市 山口 龍一

とき かき くらく とも べいじゅそつじゅ ふたり
時を重ねて 苦楽を共に 米寿卒寿の 二人たび

評 永年苦楽を共にしてきた老夫婦。二人旅のひと言に愛情が滲みます。

茨城県常陸太田市 鵬郷

肩で風切る 輝く瞳 今日も若さの ありったけ

評 若さがいっぱいのお孫さんを眩しく見つめる愛情の眼差でしょうか。

茨城県桜川市 平間 貴行

未来輝く 太田の郷さとに 共に栄える 扇歌節

評 そう、太田の繁栄と共に、扇歌節の都々逸も詠み継ぎ唄い継いで行きましょう。

茨城県行方市 長谷川 源一

恋の噂も 立つうちや春よ じらす間に 秋が来る

評 洒落れた歌ですね。人生、秋になっても恋を忘れずに生きたいものです。

茨城県稲敷郡美浦村 霞天

佳作

渡る世間は 丁目と半目 良いも悪いも 時の運

評 まあ、たしかにそういう面もありますが、運も実力の内とも、運の陰には努力ありとも。

千葉県柏市 森田 純

爺を家来と 前行く孫の 目差す戦場 玩具店

評 孫の家来よろしく、財布を懐にニコニコついて行く幸せなお爺ちゃん。

茨城県常陸太田市 福地 吉夫

時を過ごした 鉄なべ今も つかう河原の 芋煮会

評 今年も友人や家族と河原で芋煮会。使う鉄鍋も、もう何十年の付き合い。

茨城県日立市 佐藤 雅雄

生きる希望を 次代につなぐ 平和な未来 子どもらに

評 そう、元気で明るい子供たちが希望を与えてくれます。彼らのためにも平和な世の中にしたいですね。

茨城県常陸太田市 宇野 隆子

屋久杉樹齡 千年越えと 人は百年 時は金なり

静岡県静岡市 小川 健治

月が輝く せき立つ胸に 偲ぶ恋路に 秋の夜

岐阜県養老郡養老町 植田 芙美子

潮が満ち来て 宮居が浮かぶ 映える輝き 巖島

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

子ども老人 どちらも宝 共に輝く 日本なれ

茨城県石岡市 若色 茂

時空のり越へ 渋顔二つ たまにカエルが 覗きこむ

茨城県水戸市 栗原 松枝

ポツンと二人 輝く夜空 二十四節氣 友にして

茨城県水戸市 栗田 修治

時の流れも 流してくれぬ 悲しい想い いつまでも

茨城県常陸太田市 滑川 浩一

青さ若さは 青春コース 未来輝く 鼻ピアス

茨城県桜川市 稲葉 建正

喜寿はさらりと 過ぎ去り行きし 輝く米寿 期待して

茨城県水戸市 井上 哲雄

生きてやるぞと ツクツク法師 残暑厳しい 午後三時

東京都羽村市 仙太郎

輝くフエークの 仲人口に 決めてしまった 妻と居る

愛知県春日井市 吉福 康郎

若い時には 花咲く香 寒さ忍いだ 梅が良い

茨城県常陸大宮市 鈴木 良子

若い時には 花咲く高音 色と香を 乗せて来る

茨城県常陸大宮市 鈴木 茂

キラリ輝く 指輪をはめた メダル持つ手の くすり指

兵庫県多可郡多可町 上原 敏伸

平和揺さぶる 戦火の悪魔 命やり取り 時刻む

愛知県名古屋市 福田 良兵

君の瞳に 輝く未来 夢は時空を 駆け巡る

東京都江戸川区 伯丈

月の探索は 未来のために 平和利用の 時を待つ

山口県下関市 亀田 正史

過去に悔あり 未来に夢を 今を生きてる 我れ傘寿

茨城県石岡市 助川 浩史

紅葉輝く 竜神峡へ バンジージャンプが 虹を追う

茨城県石岡市 石塚 信彦

そんな時代も あったねなんて 孫と語った アンビシャス

茨城県石岡市 石塚 芳華

古稀で集うも 人間ドラマ 未完くすぐる クラス会

茨城県常陸太田市 鈴木 盛雄

時はすぎても 忘れぬひとの 肌^{はだ}のぬくもり 夢のなか

茨城県桜川市 木村 隆一

どこまで続く 私の未来 月にたくして 輝やこう

茨城県日立市 橋本 よし子

書道絵画に アサガオ記録 時間たりない 夏休み

茨城県石岡市 坂下 靖鈴

何時^{いつ}か役立つ 毛糸の山は 編んで夢みた パリの色

茨城県ひたちなか市 星野 和代

時間のたつのが 猛暑は速い ソフトクリーム 持つ子の手

静岡県浜松市 澤渡 延代

ふたり紡いだ 時間はきつと 未来予報も 晴れにする

茨城県石岡市 小川野 蛙

こんなリーダー 出て来て欲しい 地球の未来を 救う人

茨城県笠間市 王田 侘介

好いた同志^{メオト}が 夫婦^{メオト}になって 未来輝く 子^{イダ}を抱く

茨城県石岡市 福田 泰夫

未来輝く あなたと私 手と手重ねて めおとみち

千葉県柏市 根岸 悦弥

酷暑ソーメン ほとほとあきた すずしい便り 未だ来ぬ

千葉県我孫子市 中野 良枝

時は移れど 輝くものは 人のやさしさ ほかになし

茨城県取手市 北本 かよ

竜の吊橋 未来も泳げ 茨城百景 鯉のぼり

茨城県守谷市 羽山 雅子

未だ帰らぬ その言い訳は メールで伝える 心根か

埼玉県さいたま市 根岸 おと弥

さすが本命 馬群を割って ぐいと出て来る ゴール前

東京都世田谷区 安藤 紀楽

蛭狩した 思い出胸に 時の流れの 置土産

茨城県笠間市 王田 和子

メダル輝く パリパラ五輪 汗も額に 光ってた

愛知県岡崎市 鈴木 久仁七

時が過ぎても 消えない声は 未だ息づく 想い人

茨城県常陸太田市 木内 美子

後期高齢 四葉のマーク 免許返納 迷い時

茨城県那珂市 富山 邦男

時雨降る夜に 輝く君と 未かぞえる^{ひつじ} 来る陽は待たず

茨城県常陸太田市 岩本 克之

時をつなげて 未来へ向かう 輝く明日が 待っている

茨城県常陸太田市 舟橋 園江

時を重ねて 今ある時が 幸せ絵になる 時の空

東京都台東区 久米 初枝

東南風^{いなさ}の風に どどいつのせて 綱^なげ未来へ 若人よ

茨城県水戸市 鈴木 ケイ

祝う市制の 七十年に 尚も輝く 未来あれ

茨城県石岡市 暁 夢華

夏が気が付く ヤバイヨ長居 秋が時々 ノックする

東京都杉並区 佐藤 富貴子

太田都々逸 全国集う 町の宣伝 花咲かせ

茨城県ひたちなか市 大藪 寿美

*一般の部作品の記載順は、各賞・選外ごとに申込を受けた順となっております。

自由句

どどいつ大賞

なにもかにもが 去り行くなかに 共に福寿の 輪をくぐる

評 友人・知人も次々に逝き、色々な活動も減ってゆく中、仲良く長寿を楽しんでいる老夫婦の幸せ感がよく表されています。

「輪」は夏越の芽の輪でしょうか。

茨城県水戸市 栗原 松枝

どどいつ準大賞

稲の育ちも 例年並みで 妻と安堵の 茶を啜る

評 二人で植えた田圃の順調な生育を見回った後、夫婦で飲むお茶が旨い。

茨城県石岡市 小川野 蛙

熱い心で 握ったこの手 今は介助で 杖がわり

評 若い頃燃える気持で握った妻の手に今は支えられて生きている感謝の気持。

茨城県常陸大宮市 猿田 多真姫

介護施設へ 入所の知らせ 友がだんだん 遠くなる

評 長年一緒に飲んだり遊んだりしてきた友人が介護施設に入り会い難しくなってしまった寂しさ。

東京都台東区 久米 初枝

昔桜田 恩讐越えて 水戸の梅咲く 彦根城

評 言わずと知れた桜田門外の変。その水戸と彦根が水戸から贈られた梅でつながる歴史の詩情。

茨城県石岡市 若色 茂

酒の二合に 戯れ唄一つ 鼻が歌った いい月夜

評 月を愛でながらの微酔い。鼻歌まじりで自作の都々逸、贅沢な時間ですねえ。

茨城県桜川市 稲葉 建正

孫のない身も 将棋の会は 盤の向こうに 小さな手

評 孫のような小さな子と将棋盤を挟んで向い合う幸せなひととき。

愛知県春日井市 吉福 康郎

切り干し大根 お揚げを多め 仏の好みで 盆の膳

評 お盆に迎える仏（亡くなったご主人でしょうか）への変わらぬ愛情がにじむ作品。

静岡県浜松市 澤渡 延代

おらのふるさと ネオンはないが 星が輝く 広い空

評 いいですねえ。ネオンも悪くないけれど夜空いっぱい星には叶いません。

茨城県笠間市 王田 侘介

佳作

空は青くて 白雲流れ 稲は黄金だ こがね 赤とんぼ

評 青空、白雲、黄金色の稲穂そして赤とんぼ、そのまま美しい絵画のような秋の風景ですね。

茨城県常陸太田市 舟橋 園江

唄う都々逸 扇歌の里よ 太田輝く 宝歌

評 そう、扇歌の生んだ都々逸は、太田だけでなく日本の宝です。

茨城県行方市 長谷川 源一

お財布携帯 メールにカメラ ほん（phone）に便利な 玉手箱

評 本当に、今やスマホ一つであれもこれも。便利ですねえ…でも不便に思う人も。

埼玉県さいたま市 根岸 一弥

かど 角をけずって 傷埋め合って やつと反り合う 古い夫婦

評 永年連れ添った夫婦、たしかにそういうものかもしれませんがねえ。

茨城県那珂市 富山 邦男

ちよつと気まずい 大人の口に 児等の笑顔が 熱冷まし

茨城県常陸太田市 福地 吉夫

コマーションルには 保険とサブリ 福祉国家は いつできる

静岡県静岡市 小川 健治

秋の梢に 彼に手引かれ 逢瀬一夜に 心酔う

岐阜県養老郡養老町 植田 芙美子

澄んだ青空 両手を広げ 秋の五感を 太くする

三重県伊勢市 山口 龍一

時を重ねて 幾歳過ぎる 感謝かんしゃの 夫婦たび

茨城県常陸太田市 鵬郷

人の運命に 抗い出来ず 泣いて別れた 十三夜

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

目にも鮮やか 夕陽の空を 戦禍ロシアと 重ね見る

愛知県岡崎市 本多 しげる

母の懐 地図にはないが 終の住処に 訪ねたい

茨城県水戸市 栗田 修治

未知の島へと 数千キロを 休む処なく 渡る蝶

茨城県桜川市 平間 貴行

今年の夏は 今日暑いぞ 酷暑続きを 覚悟して

茨城県水戸市 井上 哲雄

車横づけ 山もり旅の 土産ばなしと 来た手ぶら

茨城県日立市 佐藤 雅雄

風神雷神 治めておくれ ゲリラ雷雨の 列島を

東京都中央区 村上 妙

夢を追いかけて 見果てぬ旅の 生は愛しき 蜃気楼

東京都羽村市 仙太郎

蝉も猛暑で うなだれ声に 人も無口の 閻魔顔

愛知県名古屋市 福田 良兵

子供支援は 社会の絆 人の温みが 国造り

茨城県常陸大宮市 鈴木 良子

夢を背負った 我が家の男児 眼には山城 写してる

茨城県常陸大宮市 鈴木 茂

目もと口もと ついついゆるむ 想い重ねる あ的笑顔

兵庫県多可郡多可町 上原 敏伸

やぐら囲んだ 踊りの輪から そつと抜け出る 影二つ

東京都江戸川区 伯丈

幼なじみも 独り身と知り ハタと気がつく 筒井筒

茨城県稲敷郡美浦村 霞天

我も我もと こざかし議員 総理選挙の 美辞麗句

山口県下関市 亀田 正史

電気は神様 しみじみ知った 外へ出られぬ 冷えた部屋

茨城県石岡市 助川 浩史

メール返事は ニコニコマーク 文字のひとつも ない返事

茨城県石岡市 石塚 信彦

こころ尽しも いっしょに入れる 徹夜する子に 濃いコーヒー

茨城県石岡市 石塚 芳華

好きに汗かき 前向き生きて 古稀の横顔 誇らしげ

茨城県常陸太田市 鈴木 盛雄

久慈の川面に 流るゝシガの 音も懐かし シヤリゝと

茨城県常陸大宮市 立原 久枝

傘寿てにして 旅行く先は 黄金波うつ 米の里

茨城県桜川市 木村 隆一

街に無人の 餃子屋花屋 天網恢恢 カメラの眼

神奈川県川崎市 後藤 園生

永きお務め 福沢諭吉 続く渋沢 世話かける

茨城県那珂郡東海村 小野寺 紀夫

あの世からをも しあわせ祈る 姑の言葉に うれし泣き

茨城県日立市 橋本 よし子

休み欲しいと 雷様が 続く暑さに 世迷言

茨城県石岡市 坂下 靖鈴

物価の値上げ 猛暑がつづく スタミナほしい 土用入り

茨城県常陸太田市 宇野 隆子

物価の値上げ うなぎ蒲焼 いわしに変身 夏土用

茨城県常陸太田市 宇野 周治

祭り雛子に 幼い胸が 甘え忘れて 踊る夜

茨城県ひたちなか市 星野 和代

熱き憧れ 名画の曲に ギター習うは 喜寿の秋

埼玉県加須市 松村 有子

市制古希なら 合併二十才^{ハタチ} 常陸太田市 永久^{トコシエ}に

茨城県石岡市 福田 泰夫

扇歌めざして 都々逸うたい とんだ不首尾の 雨に風

千葉県柏市 根岸 悦弥

はるかかなたの 星くずひとつ 願いかけたら 宇宙ゴミ

千葉県我孫子市 中野 良枝

流れ流れて ここまで来たが もどりたくとも 道忘れ

茨城県取手市 北本 かよ

くされ嬢^{かかあ}に 酌されながら 夜飲む酒に 毒はなし

千葉県柏市 森田 純

時は金なり 人には言うが 今日も昼から 酒を飲む

茨城県守谷市 羽山 雅子

明日は雨かと 見あげる月は 昼まで添い寝 許す顔

埼玉県さいたま市 根岸 おと弥

欲にまみれて いる政治家を 干せばくさやに なるだろう

東京都世田谷区 安藤 紀楽

母を誘って 子供を連れて 夢のひとつき 盆踊

茨城県笠間市 王田 和子

お月様にも 打ち明けられぬ 乙女心の 胸のうち

愛知県岡崎市 鈴木 久仁七

やる気示せと アイデア出せと 見る目聞く耳^{いずこ} それ何処

茨城県常陸太田市 木内 美子

黄金彩る 磯部の地から 粹に響けよ この音色

茨城県水戸市 鈴木 ケイ

初代扇歌の 生まれた所 歴史文化の 華^{はな}どころ

茨城県石岡市 暁 夢華

庭の千種の 虫の音ライブ 今宵ワインで ガザ悲し

東京都杉並区 佐藤 富貴子

メダル最多の 日本の記録 選手輝く オリンピック

茨城県ひたちなか市 大藪 寿美

*一般の部作品の記載順は、各賞・選外ごとに申込を受けた順となっております。

少年の部

◆宿題句「時」「輝」「未」「来」

賞区分	氏 名	学校名	学 年
どどいつ賞	小 森 可奈子	常陸太田市立瑞竜中学校	2年
	春木屋 楓 莉	常陸太田市立瑞竜中学校	2年
	榊 優 奈	常陸太田市立金砂郷中学校	2年
	平 塚 世 奈	常陸太田市立金砂郷中学校	3年
	會 澤 昊	常陸太田市立水府中学校	3年
	中 野 裕 斗	常陸太田市立里美中学校	2年
	新 島 奏 音	常陸太田市立里美中学校	2年
	川 崎 涼 馬	常陸太田市立里美中学校	3年
	阿 部 航 希	牛久市立牛久第一中学校	1年
	人 見 沙桜里	牛久市立牛久第一中学校	3年

◆自由句

賞区分	氏 名	学校名	学 年
どどいつ賞	小 森 若 奈	常陸太田市立瑞竜中学校	1年
	武 藤 みなみ	常陸太田市立瑞竜中学校	3年
	川 合 七 海	常陸太田市立金砂郷中学校	3年
	鴨志田 真 優	常陸太田市立金砂郷中学校	3年
	木 村 史	常陸太田市立水府中学校	3年
	渡 部 連	常陸太田市立里美中学校	3年
	名 平 光 希	牛久市立牛久第一中学校	1年
	齊 藤 漣	牛久市立牛久第一中学校	1年
	金井 宏美 ミスティー	牛久市立牛久第一中学校	2年
	與 板 俊 介	牛久市立牛久第一中学校	2年

宿題句

「時」

「輝」

「未」

「来」

どどいつ賞

テスト勉強 苦しい時に ふいに夢みる 光る道

常陸太田市立瑞竜中学校二年 小森 可奈子

夏の夜空で 輝く星は 私の未来 描いてる

常陸太田市立瑞竜中学校二年 春木屋 楓莉

時間かければ 輝くはずの 未来のたまご サボり中

常陸太田市立金砂郷中学校二年 榊 優奈

輝く未来 創ってみせる 今はまだまだ 未完成

常陸太田市立金砂郷中学校三年 平塚 世奈

私の進路 輝く未来 私自身で 切り開く

常陸太田市立水府中学校三年 會澤 昊

キラキラ輝く 海を見ながら スイスイほおぼる かき氷

常陸太田市立里美中学校二年 中野 裕斗

みんなの顔が 輝いている それは未来を 語るとき

常陸太田市立里美中学校二年 新島 奏音

常陸太田の 豊かな未来 世代を越えて 「いやどうも」

常陸太田市立里美中学校三年 川崎 涼馬

何時^{いつ}になったら 宿題やるの 母の頭に つの生える

牛久市立牛久第一中学校一年 阿部 航希

いざ時は来た 未来をつかむ 試験開始は あと2秒

牛久市立牛久第一中学校三年 人見 沙桜里

自由句

どどいつ賞

静かに眠る そう見せかけて こっそり話す 恋話

常陸太田市立瑞竜中学校一年 小森 若奈

ずっと寝てたい なんぞ眠いの たくさん寝たのに 分かんない

常陸太田市立瑞竜中学校三年 武藤 みなみ

窓から見える 緑の景色 稲の成長 真っ盛り

常陸太田市立金砂郷中学校三年 川合 七海

汗と涙と 笑顔の数が 明日へつながる 糧となる

常陸太田市立金砂郷中学校三年 鴨志田 真優

素敵だらうな 大人同士で 「遊ぼうよ」 って 言う世界

常陸太田市立水府中学校三年 木村 史

ゲームしていて 勉強しろと その一言で ねむくなる

常陸太田市立里美中学校三年 渡部 連

押し活用おかつようの グッズを買かえば 夏なつの暑あつさも 気きにしない

牛久市立牛久第一中学校一年 名平 光希

自分を信じ 仲間を信じ 戦う心 金メダル

牛久市立牛久第一中学校一年 齊藤 漣

空そらを見上みあげりや 打ち上うげ花火はなび 赤青黄色あかあおきいろの 貴方あなたの目め

牛久市立牛久第一中学校二年 金井 宏美 ミスティー

明日やろうを 続けた結果 残る宿題 夏休み

牛久市立牛久第一中学校二年 與板 俊介

第三十八回都々逸全国大会 作詞 少年の部 講評

▲みなさんへ▼

都々一坊扇歌師を生んだ地の少年諸君が作られた若々しい息吹の都々逸に接し、とても嬉しく選をさせてもらいました。寄せられた諸君の作品は、どれも日頃の生活のなかで感じた気持ちを素直に表現する詩心に溢れ、読みながらとても明るい気持ちになりました。

これからの成長が楽しみな諸君らに一つだけ期待を込めたお願いがあります。皆さんの作品のなかに、内容は素敵なのですがこれに節をつけて唄おうとするとちょっと唄いにくい作品がいくつか見受けられました。民謡から生まれ唄うことを前提として作られる都々逸を唄いやすいものにするために、「七七七五」の三つの七にはそれぞれ順に「三十四（または四十四〥八でもよい）」「四十三（または二十五）」「三十四（または四十四〥八）」というもう少し細かい原則があります。（皆さんの作品は、大会の応募要領に示された「七七七五」の基本リズムには合致しており、後から細かいことを言うのはフェアではないので今回は入選の条件にはしませんでした。次回以降の募集案内ではこの点についても触れるようにしたいと思います。）

「素直な詩心」を大切にしつつこうした技術的な面でもレベルアップした作品が多数寄せられることを今から楽しみにしています。

フレイル予防の部

◆フレイル予防の部 お題「フレイル」

賞区分	氏名・筆名
フレイル予防どどいつ大賞	鈴 木 盛 雄
フレイル予防どどいつ賞	平 澤 純 子
	江 幡 宣 克
	綿 引 美 喜
	竹之内 美枝子
	和 田 仁 美
	和 田 恵 子
	綿 引 由美子
	栗 原 真理子
	岩 間 寿美子
	根 本 俊 江

お題「フレイル」

フレイル予防どいつ大賞

気づくフレイル 予防のカギは メモる趣味持つ 散歩する

鈴木 盛雄

フレイル予防どいつ賞

音頭踊って フレイル予防 常陸太田の 合言葉

平澤 純子

昔おとめも 今ダンディも フレイル予防で はずんでる

和田 恵子

何だフレイル わからんけれど 長生き音頭で みな元気

江幡 宣克

なかなか出ない アレコレソレで フレイル気になる 共通語

綿引 由美子

じょうづる音頭は フレイル予防 そればあさんや 踊ろうよ

綿引 美喜

日々の元気の 秘訣はなーに フレイル予防 がんばっぺ

栗原 真理子

自分みがきに フレイルチェック 笑顔素敵 な 高齢者（おとしより）

竹之内 美枝子

ちよつとドキドキ フレイルチェック されどにんまり まだいける

岩間 寿美子

フレイル予防 サロンにランチ 今日も明日も 家は留守

和田 仁美

見様見真似で フレイル予防 身ほど可愛い ものはない

根本 俊江

第三十八回都々逸全国大会 作詞 フレイル予防の部 講評

今回初めて設けられたフレイル予防の部の作品、楽しく読ませていただきました。

かく言う私もそろそろ〃末期高齢者〃ゾーンの一人、いろいろ身につまされたり考えさせられたりしながらの選でした。フレイル予防どいつ大賞に選ばせていただいた「気づくフレイル 予防のカギは メモる趣味持つ 散歩する」は唄う都々逸として調子（リズム）が良いばかりでなく、「フレイル予防」という観点から前向きかつ充実した内容で、強く共感した作品でした。

次回以降も、さらに多くの皆さんから、ますます元氣溢れる作品が寄せられるようお待ちしております。

小 野 桂之介

総 評

小 野 桂之介

第三十八回都々逸全国大会のご開催、おめでとうございます。

江戸期に都々一坊扇歌師が生んだ都々逸は、言うまでもなく今も日本文化の大切な一部を成しております。扇歌師生誕・終焉の地である常陸太田市が、関係各位のご尽力により長年にわたり盛大な都々逸全国大会を催されておられることに、都々逸をこよなく愛する一人として心から敬意を表し感謝申し上げます。また、前任の吉住義之助先生の後を受け、本大会作詞の部の選者を担当させていただくことになりましたことを大変光栄に存じております。

この第三十八回大会では、従来からの「一般の部」と「少年の部」に加え、新たに「フレイル予防の部」が設けられ、沢山の作品が寄せられました。正に老若男女こぞって都々逸作品作りに取り組む理想的な姿を目指すということで、とても喜ばしく思う次第であり、選者としても嬉しく楽しく選をさせていただきました。

この伝統ある都々逸全国大会が今後さらに多くの皆さんのご参加を得てますます発展して行きますよう、心からお祈り申し上げます。

小野先生プロフィール

一九四〇年 東京都文京区生まれ
 一九六三年 慶應義塾大学工学部管理工学科卒業
 一九六五年 同大学院工学研究科修士課程修了
 一九六八年 同大学院工学研究科博士課程単位取得
 一九七〇年 ハーバード大学ビジネス・スクールITP修了
 一九八三年 工学博士（慶應義塾大学）

一九六五年 慶應義塾大学ビジネス・スクール助手
 一九八四年 同大学院経営管理研究科兼ビジネス・スクール教授
 一九九七年～二〇〇一年 同研究科委員長兼ビジネス・スクール校長
 二〇〇五年～ 慶應義塾大学名誉教授
 二〇〇五年～二〇一〇年 中部大学経営情報学部部長兼大学院経営情報学研究科長
 二〇〇七年～二〇一〇年 中部大学学監
 二〇一〇年～二〇一四年 中部大学副学長
 二〇一一年～二〇一五年 学校法人中部大学理事
 二〇一五年四月～ 中部大学名誉教授
 この間 一九七三年 アジア経営大学院訪問教授

現在

慶應義塾大学名誉教授
 中部大学名誉教授
 YKK（株）社外取締役
 久光製薬（株）経営顧問

著書

経営学関連著書多数のほか、現代都々逸を紹介する『都々逸っていいなあ』（角川書店二〇二一年）および句集『蝸牛』（角川書店二〇一七年）がある。



磯部見ぼり

ぼくは

風を吹かす

気がたまる

都々逸

第三十八回都々逸全国大会作品集

編集 第三十八回都々逸全国大会事務局

発行者 第三十八回都々逸全国大会実行委員会

大会長 宮田 達夫

印刷所 山口写真製版印刷

問い合わせ

第三十八回都々逸全国大会事務局

(常陸太田市教育委員会文化課内)

三三三・〇〇五五

茨城県常陸太田市西二町二二〇〇番地

電話 〇二九四・七二一・三二〇一

本書の全部又は一部を無断で複写（コピー）することは、著作権上の例外を除き禁じられています。



主催 第38回都々逸全国大会実行委員会

協賛



常陸農業協同組合

明治安田生命保険相互会社

常陸太田産業振興（株）

（一財）里美ふるさと振興公社